

# 授業評価アンケート

2021年度 後期

授業コード : 212261

授業科目名 : 保健医療福祉概論(理学・作業・視覚)

履修者数 : 122名

担当教員名 : 小淵 高志

回答者数 : 75名

学部 :	医療福祉	74	現代社会	0	経営法/総合政策	0	工/科学技術	0
	無回答	1						
学科専攻 :	理学療法	67	作業療法	0	言語聴覚	0	視覚機能	7
	看護	0	保健福祉	0	生活福祉	0	現代社会	0
	経営法/総合政策	0	知能情報	0	建築環境	0	臨床工学	0
	無回答	1						
学年 :	1年	1	2年	72	3年	0	4年	0
							無回答	2

設問文	⑤	④	③	②	①	科目平均	大学平均																
<b>A: 授業への取り組みについて</b>																							
問1. 授業の欠席回数は何回でしたか ⑤0回 ④1~2回 ③3~4回 ②5~6回 ①7回以上	66	7	1	0	0	4.88	4.57																
問2. 授業の他に学習活動(予習・復習・課題・レポートなど)をしましたか	40	21	10	4	0	4.29	4.19																
問3. 授業を受講する前にシラバスを確認しましたか	44	23	6	2	0	4.45	4.19																
問4. 授業内容でわからないことを先生に質問しましたか	30	16	19	3	7	3.79	3.64																
<b>B: 授業内容・方法・成果について</b>																							
問5. 授業方法について、使われた方法すべてにチェックしてください(複数選択可)	<table border="1"> <tr> <td>対面授業</td> <td>75</td> <td>遠隔(meet)</td> <td>51</td> <td>遠隔(音声ファイル)</td> <td>1</td> <td>遠隔(動画ファイル)</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>遠隔(チャット)</td> <td>1</td> <td>遠隔(課題)</td> <td>4</td> <td>遠隔(テスト)</td> <td>1</td> <td>無回答</td> <td>0</td> </tr> </table>							対面授業	75	遠隔(meet)	51	遠隔(音声ファイル)	1	遠隔(動画ファイル)	3	遠隔(チャット)	1	遠隔(課題)	4	遠隔(テスト)	1	無回答	0
対面授業	75	遠隔(meet)	51	遠隔(音声ファイル)	1	遠隔(動画ファイル)	3																
遠隔(チャット)	1	遠隔(課題)	4	遠隔(テスト)	1	無回答	0																
問6. 授業は系統的に整理、準備されていましたか	50	21	4	0	0	4.61	4.55																
問7. 授業内容は理解しやすかったですか	41	25	8	1	0	4.41	4.37																
問8. 授業中に質問しやすい環境でしたか	37	15	16	6	0	4.12	4.11																
問9. 授業のスピードおよび学習量は適切だったでしょうか	49	17	9	0	0	4.53	4.36																
問10. シラバスまたは授業始めに掲示された到達目標は達成されましたか	43	21	10	0	0	4.45	4.36																
問11. 授業内容は興味深く、知的好奇心を触発されましたか	47	18	8	1	1	4.45	4.37																
<b>C: 授業の全般的印象</b>																							
問12. 教員の熱意を感じましたか	57	13	5	0	0	4.69	4.52																
問13. この授業で専門的な知識や技術、または豊かな教養が身につきましたか	46	20	8	1	0	4.48	4.44																
問14. 総合的に判断すると満足できる授業でしたか	45	24	4	1	1	4.48	4.44																

## 学生へのメッセージ

今回の結果を受けて次のような改善策を講じようと考えている。1) 授業終了時に学習内容の要約を行ったり、次回の授業に付随する内容をテーマにしたレポートの提出を求めることで予習や復習を促す。2) 学科オリエンテーションの際にシラバスを確認するように強く指導するとともに、授業のシラバスの内容について解説し、授業内容と到達すべき目標を理解させる確認作業を初回のみならず、2回目以降にも適宜行うことで確認を促す。3) ミニ・レポートや授業内容理解のための小テストなどを随時行う。そのさい、提示する課題用紙や解答用紙に授業の質問事項を書き込めるように工夫する。4) 授業時間の最後に、質問を受け付ける時間を設定する。

